

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.1
Q1 室内環境			0.40			3.5
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00	3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	Dr-50の性能を確保する計画とした。		-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20	
1.3 吸音			-		-	
2 温熱環境		2.2	0.35	3.0	1.00	2.9
2.1 室温制御		2.2	0.50	3.0	1.00	
1 室温		3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		1.9	0.25	4.0	1.00	3.8
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率	共用部:昼光率=5.42% 住居部:昼光率=2.88%	5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口			-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	住戸部:カーテン及び庇の組み合わせにて昼光制御している。	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-	
4 空気環境		4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も全面的に採用している。	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能			-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			-		-	
1 CO ₂ の監視			-		-	
2 喫煙の制御			-		-	
Q2 サービス性能			0.30			3.1
1 機能性		3.1	0.40	3.4	1.00	3.3
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応	各住戸で100Mbitのブロードバンドが利用可能		-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	天井高2.5m以上		-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないように3.4mの距離を確保し、外部に露出する金属部材はアルミを使用。	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3を取得予定	5.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		1.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管SUS(C)、汚水排水及び雑排水VP(B)、Eは不使用	4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	

2.4 信頼性			3.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具を採用し、井戸中水などの利用が可能な計画としている。	4.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化			4.9	0.50		-	4.9
集合住宅以外の評価(3a.3b)						-	
集合住宅の評価(3c)		一次エネルギー消費率:共用部=0.39 専有部=0.90 潜熱回収型給湯器を採用	4.9	1.00		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
集合住宅の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60		-	3.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ダンブスマ(建具)、集成材(洗面所床下地)	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上げ材のデティールを採用し、GL工法も採用している。	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が一つある。	4.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LGCO2排出率62%	4.5	0.33		-	4.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	